

かるた



もくじ

- 志賀直哉 — 2
- 参考図書 解説 — 3
- 本と珈琲 — 3
- ひとくちメモ — 4
- お知らせ — 4



[平日 8:50~18:30]
 [土曜日 8:50~16:30]

学習院大学図書館 運用課 内線378.

志賀直哉

——野村惠子——

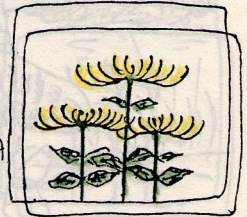
志賀直哉が没して8年になります。学習院在学中には輔仁會雑誌への寄稿、そして白樺、座右室、心への執筆と雑誌を中心に当館所蔵の図書で2階に展示してみました。

○学習院輔仁會雑誌 [第61, 64, 66, 67, 69号] 明治22-39年に学習院の初等科, 中等科, 高等科に在籍中に行軍記事や“なつかは”“奈加葉”“半”等の名前で短文を寄稿。

○白樺 [創刊号] 明治43年4月, [ロダン] 明治43年11月, 彼は創刊号に「細走まで」を, 以後「芭の犯罪」「荒絹」「小僧の神様」等を白樺に発表した。

○座右室 [第1-19号] 昭和21.4月-23.8月 美術, 文芸雑誌。文芸関係において, 志賀直哉, 長与善郎, 日夏耿之介, 佐藤春夫, 瀧井孝作らが執筆。

○心 [第7巻2号] 昭和29.2月, [第8巻10号] 昭和30.10月 [第25巻4号] 昭和47.4月, 文芸雑誌。



武者小路実篤を中心に安倍能成, 志賀直哉, 和田哲郎ら学界, 芸術界の長老42人により「生成会」を結成し, その機関誌として刊行された。

○志賀直哉全集 (全17巻) 昭和30-31年, 新書版で題字は小林古経, 装幀は梅原龍三郎により, 岩波書店より刊行された。

○志賀直哉全集 (全14巻, 別巻1) 昭和48-49年, 題字は瀧井孝作, 岩波書店。

○豊年虫 昭和21年, 座右室刊行会刊。

○翌年 昭和23年, 小山書店刊。

志賀直哉 明治16年2月20日 ~ 昭和46年10月21日。

参考図書の問題 (中野理美)

「浮世絵事典」上・中・下、吉田暎二、R-721-23.

上・中 緑園書房 昭和40(1965)

下 国文学堂 昭和46(1971)

3巻より成る50音順排列で、内容は浮世絵に関する全般であるが各項目にわたって説明のほか、著者の私見を述べているものが少なくないのが特色といえよう。

しかし、各項目の「見出し」の下に、カッコで記した文字によって項目の分類を示しているのを、凡例で説明されているのが気になる。さらに、本文中に盛んに出てくる「書」が欠落しているのはどうしたことか。

受け売りの効用

本と珈琲①

人と話をしたり本を読んだり、それも楽しんで無理やりだったりして、また新聞・テレビとおびただしい情報に取り囲まれている。取り分け学生であるということは自ら進んでこれを求めているわけであるから、価値の不安定で相対的な情報の洪水の中から要領よく自分の知識として取り込むことが大切なわけである。

「あや」と思ったらしっかりと搦え確認しておかないといつものまにかもやもやと消えてしまう。そこで、自分が得た新しい知識は努めて他人に語って聞かせることだ。新知識を精一杯ひけらかすのだ。受け売り大いにけっこうではないか。なぜなら、こうすることで手に入れたばかりの知識の不完全さにいやでも気付くことになり、語りながら必死でこれを補わなければつじつまがあわなれ。

この補うということが、既に得ている知識やアイデアにより刺激を与えてくれるはずだからである。

——佐野——

としよかんてとくちめも、③展示コーナー

2階. 目録室に展示用のガラスケースがあるのを御存じでしょうか。これまで「明治の国語辞典」、「西欧経済学の新移入」、「明治初期の法律書」、「麻生磯次先生著作物」の展示をしました。10月は、学習院にゆかりのある「志賀直哉」を展示しています。また、11月は「三島由紀夫」の予定です。大学図書館所蔵の資料が主となりますので、不十分とは思いますが、希望の企画がありましたら、係まで申し出て下さい。

お知らせ

- 大学祭の期間中は例年通り、南館となります。その間、ロビーでは華道部が、オ1閲覧室では書道部がそれぞれの作品を展示します。
- 図書への返納が病気などでやむを得ず遅れる時は、友達あるいは直接電話連絡をして下さい。
(1階南架図書室の本、内線636)
(2階出納台からの本、内線378)



夏の陽ざしもだいぶ遠のき、気が付くと木々はしだいに色づき始め、秋の気配が濃くなってきました。運動会の声もあちこちから南こえ、パンパパーンと花火が空高くこだまして、心をうきうきさせてくれます。運動会といえば、ゆで栗、まだ青くちやとあはれミカン、梨、リンゴ、そしてのり巻のお弁当。それをみんなで少しづつ交際しながら青空の下で食べる。11月頃の思い出です。

遅く情熱的な夏と冷静で理性的な冬にはさまれて、秋はほんのりと、ほほを染めるのです。

製作・著作
学習院大学図書館 運用課
かるね 編集委員
目白1-5-1 (986)0221 内378
10月15日(月) 1979